

“はきちがえるな!!”

この世の中、靴を履く為には免許がいる。

道路交通法の改正を推進した立役者・鞘師将光議員。彼は靴免許という画期的な政策を打ち出したことで、今や最も勢いのある政治家である。しかし、問題点もある。靴を免許制にしたことにより、裸足で生活しなければいけない人々が現れる。結果、差別やイジメという問題が起こった。

そんな欠陥を鞘師の抵抗勢力が見逃すわけがない。講演会をセッティングし、鞘師を招いたのだ。周囲の反対を押し切り、講演会へと赴く鞘師。当然、標的となる欠陥についての解決策は練っていた。しかし、彼が目にした光景は予想もしないものだった。鞘師以外、全ての人間が裸足だったのだ。

3年後、靴免許は廃止となった。講演会で抵抗勢力が切り出した問題点は鞘師の予想とは大きく掛け離れていた。

「裸足の人間は靴を履いている人間に比べて、健康で長生きできる」

免許や資格が必要なものなど、本来はなくても困らないものなのかもしれない。愛や恋に免許や資格がないように……